

スマトラトラの迫力に息をのむ子どもたち=29日午前、神戸市中央区港島南町7 (撮影・秋山亮太)



## スマトラトラ 初登場

### 神戸どうぶつ王国、営業再開

新型コロナウイルスの影響で臨時休園していた神戸・ポートアイランドの神戸どうぶつ王国が29日、52日ぶりに営業を再開。動物との触れ合いを心待ちにしていた人が早速足を運んだ。

緊急事態宣言の解除を受け、6月5日の営業再開予定を前倒しした。入園にはマスク着用が必要。常設イベントの一部は当面中止し、混雑すれば入園を制限する。

入園開始の午前10時、親子連れら50人以上の行列ができた。この日はスマトラトラの「パンプ」(オス・3歳)が初登場。体長約1・8メートルの雄々しい姿に歓声が上がった。神戸市立本山第二小3年の竹田理人君(8)は「(営業再開を)ずっと待っていた。トラってこんなにカッコよかったんだ」。

短縮営業のため開園は午前10時〜午後4時(入園は午後3時半まで。水曜日は休園)。(金 曼草)

神戸どうぶつ王国のスマトラトラ

のんほいパークのライオン

なまえをさがしてかきましょう。

## ド迫力 頭上にライオン

### 愛知・豊橋 新飼育場オープン



新しい飼育場への通路を歩くライオンの「シルク」=30日午前、愛知県豊橋市の豊橋総合動植物公園

と2歳の「シルク」が仲間入りした。

新しい飼育場は167平方メートルで、ライオンの獣舎と高さ約2・5メートルの通路で結び、行き来するライオンを下から見るができる。

午前10時ごろ、集まった来園者が「アース、シルク」と大きな声で名前を呼ぶと、2頭は獣舎から顔をのぞかせた。最初はためらっていたものの、シルクが飼育場への通路を歩きだすと、来園者から歓声が上がった。シルクも興味深そうに来園者を見つめていた。

家族で訪れた静岡県湖西市の小口翔也君(4)は頭上のシルクを指さし「大きくなってカッコいい」と興奮していた。

同園の担当者は「子ライオンは人が集まっているのを初めて見て、緊張している様子だった」と話した。